

未来の私を守るために

—— 子宮頸がんとHPVワクチンのお話 ——

やりたいこといっぱいある

行きたい場所も

なりたい自分も……

だから、知っておきたいんだ。大切なこと ♡

女子も男子も
みんなで考えよう



子宮頸がんってなに？



子宮頸がんは「**予防できるがん**」

子宮の入り口にできるがんで、30～40代の女性に多く発症しますが、20代でも発症することがあります

でも安心してほしいことがあります

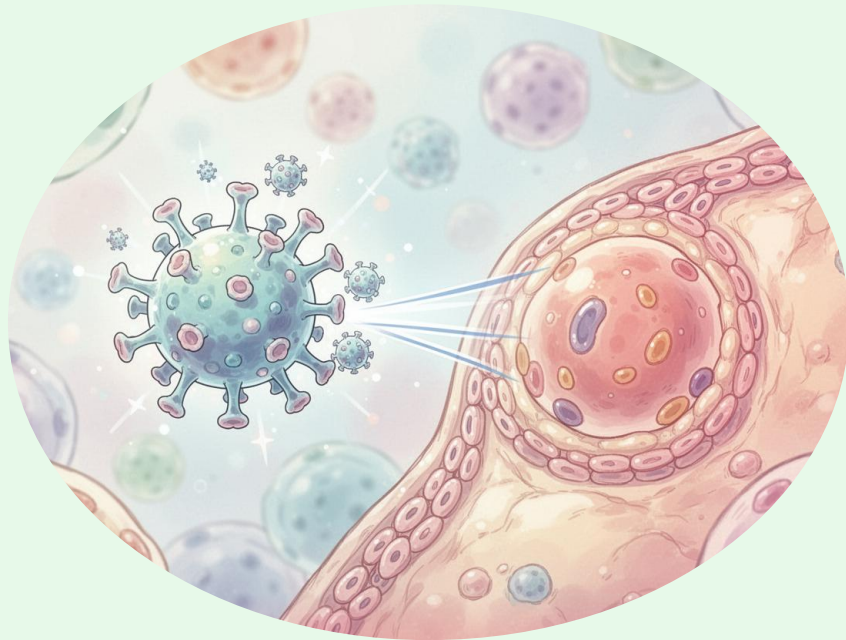
子宮頸がんは予防できるがんです

正しい知識を知っておけば、未来の自分をしっかり守れます





HPVってどんなウイルス？



HPVはとても身近なウイルスHPV(ヒトパピローマウイルス)は、

皮膚や粘膜に感染するウイルスです

多くの人が一度は感染しますが、ほとんどは自然にウイルスは消えます
ただし、一部の人でHPVが長く体に残ると、子宮頸がん(女性)だけでなく、
咽頭がん・肛門がん・陰茎がん(男女)などの原因にもなります

日常生活では感染しません



トイレ



プール



食事の共有



握手

このような行動では感染しません

HPVは、**粘膜どうしの接触が必要なウイルス**です



小学6年生から高1相当の年齢は
無料でワクチンが受けられます

①HPVワクチン

HPVの感染を防ぐワクチンです

世界中で使われていて、子宮頸がんを
大きく減らす効果が確認されています

②子宮頸がん検診

20歳になったら、定期的に検診を受けましょう

検診では、がんになる前の段階で見つけることができます

将来の自分を
守るための
大切な
選択だね



HPVは男女ともに関係するウイルスです

HPVは男女ともに感染し、子宮頸がん以外のがんの原因になることもあります。

- ・中咽頭がん(男女)
- ・肛門がん(男女)
- ・陰茎がん(男性)
- ・良性のいぼである尖圭コンジローマ(男女)

HPVを正しく知ることは、

自分自身を守るだけでなく、周りの人を守る
ことにもつながります。



世界の成功例…オーストラリア



オーストラリアでは、
学校でのHPVワクチン接種が
広く行われ、接種率

女子約80%
男子約75%

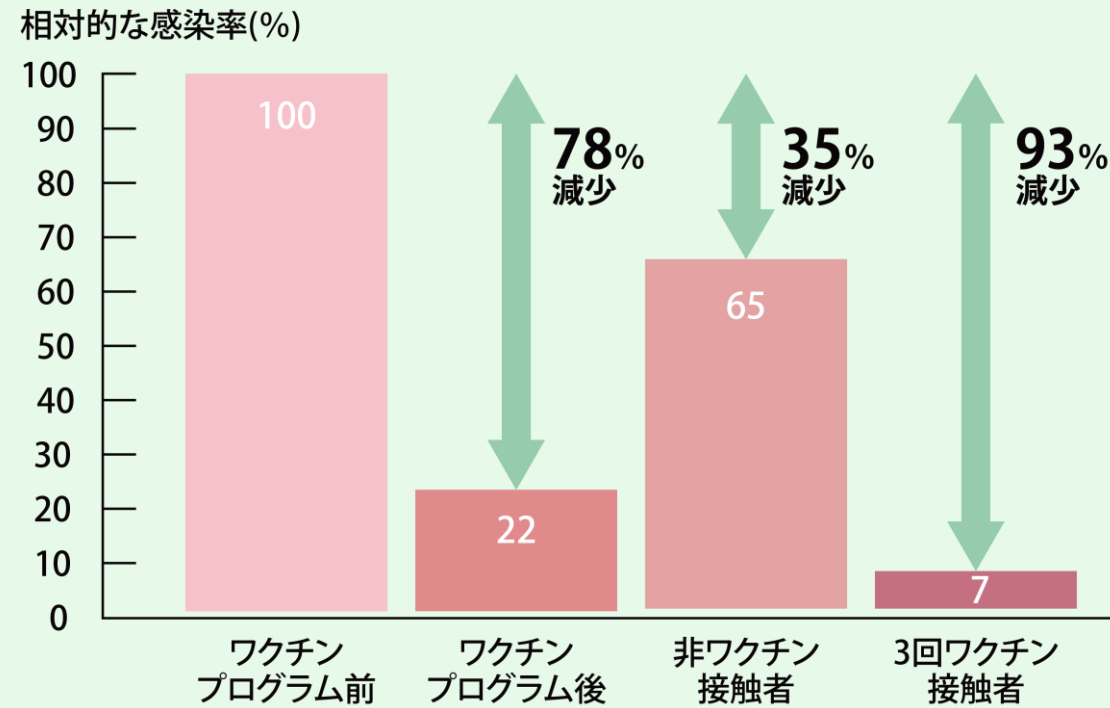
子宮頸がんの原因となる

HPV16.18型が
約80%減少

出典：Kirby Institute, “HPV Surveillance and
Monitoring Report 2025” Executive Summary

オーストラリアは感染率の減少90%

ワクチン世代18～24歳のHPV6,11,16,18型感染率の激減



前がん病変も大きく減り、**将来は子宮頸がんがほとんどなくなる**と予測されています
これは**「ワクチンと検診で予防できる」**という確かな証拠です

未来のあなたへ

あなたには、かなえたい夢や大切な人が
たくさんいるはずです
その未来を守るためにHPVについて

- ✓ 知ること
- ✓ ワクチンで予防すること
- ✓ 検診を受けること

この3つで、子宮頸がんはしっかり予防できます
女子は「今の時期」が大切
男子も「知ること」が未来を守る力になります
未来のあなたが笑顔でいられますように

ちゃんと知って、ちゃんと選ぶ
未来の私に、会いに行く



監 修

横浜市立大学附属病院産婦人科部長 横浜市立大学 産婦人科学教室 教授 宮城悦子

制 作

公益財団法人かながわ健康財団

